

【久留委員】

■市長との意見交換会 意見・質問等

No.	ページ	章	項目	細項目	質問・意見等
1	25	8 施策の体系	(1) 健康・福祉	基本施策 1 まちぐるみの 支え合いを 実現する ための取り 組み	「武蔵野市第3期健康福祉総合計画・第5期地域福祉計画」は、2018年度～2023年度までを計画期間としており、第六期長期計画（2020年度～2029年度）と多くの期間が重複する。また、いずれの計画にも共通するのは、課題の解決にあたって「医療・介護・福祉の制度・分野を超え、さらなる連携を進めるとともに、健康福祉施策を総合的、横断的、相互補完的に推進していく必要があること」であると、市長自らが「武蔵野市健康福祉総合計画」の冒頭で述べておられる。このように、【健康・福祉】分野では、相互に進捗状況や課題等をチェックしながら進めていかなければならない計画が多いが、市長として、これらの計画や施策についての優先度合いや施行のスケジュールなどについて、特段の考え方や方針がとおりか？
2	26	8 施策の体系	(1) 健康・福祉	基本施策 1 (3) 地域共 生社会の実 現に向けた 取り組み	国では地域共生社会の実現を目指しているが、武蔵野市では「第五期長期計画」の重点施策である「地域リハビリテーション」の基本理念と共通点があることから、武蔵野市の特性を踏まえて進めることとしている。これについて、市長として、これらの計画や施策についての優先度合いや施行のスケジュールなどについて、特段の考え方や方針がとおりか？
3	40	8 施策の体系	(3) 平和・文化・市民生活	基本施策 2 災害への備 えの拡充	市民からの意見や要望等については、近年の地震等の災害多発の状況に鑑み、関心が高く市の対応への要望も強いことから、今回の計画案にも「今後30年以内に70%以上の確率で首都直下地震の発生が危惧されている」ことを記述した上で、基本施策2「災害への備えの拡充」を示している。市長としては、災害発生時には陣頭指揮をとられることとなると思うが、災害発生は予測が難しいため、基本的にはいつ発生してもいいように備える必要がある一方で、いたずらに危機を煽ることもできない。この「基本施策2」の記述内容のレベルについて、市長の見解を伺いたい。